

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	94 先賢顕彰費	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
基本 施策	35 文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む	目	07	文化振興費
		細目	128	文化振興経費
行革大綱の重点事項番号		細目	54	先賢顕彰費
担当部課	コード 名称	550100 伊賀支所 振興課	担当者 氏名	服部照代
			連絡先 (内線)	45 - 9111 233

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	・文豪横光利一野村区顕彰会・横光利一「雪解のつどい」参集者 ・橋本策医学博士顕彰会	※対象件数
成果(どうする)	郷土の偉人の顕彰を行うことにより、地域の振興と、その生き方を学び郷土を愛し郷土に誇りを持つことを次世代につなげる。	
根拠法令・要綱等	伊賀市総合計画 伊賀市補助金要綱	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
H22 事業 内容	・文豪横光利一野村区顕彰会により野村区に在する横光公園の維持管理をされている。年間7回、会員延べ70人により園内の草刈及びトイレ掃除、松の手入れを行った。 ・「雪解のつどい」を開催し、横光の作品「頭ならびに腹」の朗読や大学講師の横光研究報告により、作者・作品への想いをより深めた。また、「頭ならびに腹」のイメージ絵巻(約10m)を会場に展示した。 ・橋本策医学博士の顕彰式(法要)を行った。また、石像周辺の清掃を行った。	
社会情勢 の変化等	雪解のつどいは、合併後、本庁と伊賀支所振興課とが1年交代で担当し、22年度は伊賀支所振興課が担当した。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)	
1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
横光利一の顕彰事業	回	回	目標	1	1	1
			実績	1	1	1
橋本策の顕彰事業	回	回	目標	1	1	1
			実績	1	1	1

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
横光利一顕彰事業参加者数	事業の参加者数により地域振興が図られているかどうか	事業の参加者数により地域振興が図られているかどうか	人	目標	85	85	95
				実績	95	105	95
橋本策顕彰事業参加者数	事業の参加者数により地域振興が図られているかどうか	事業の参加者数により地域振興が図られているかどうか	人	目標	38	38	38
				実績	38	38	38

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの 財源 内訳	国庫支出金	220	230	240	240
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	220	230	240	240
	事業投入人件費(B)	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
	フルコスト(A)+(B)	220	230	240	240

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
効果性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

医学界では世界的に著名なハンモト病の発見者橋本策医学博士を、また、伊賀市が「この故郷」である文豪横光利一を顕彰することにより、地域の振興を図り、郷土を愛し、郷土に誇りをもつことを次世代につなげる。市の魅力を発信するため伊賀市として支援する必要がある。

この事業における参加者は限られているが、稲積小学校は2004年から横光利一を通じて横光利一の父の故郷である大分県宇佐市立長峰小学校と交流を深めるなどの広がりも見られる。横光公園については、子供達の遊び場となっている。

少ない予算で、文化の薫る伊賀市にふさわしい事業を実施している。これ以上の予算削減はできないと考える。

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況	
改善策	平成25年ぐらいを目処に、まちづくり協議会で事務局をお願いしたい。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 「雪解のつどい」は参加者が直接作品に深く触れ合うことで参加者が多かった。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	橋本 忠大
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 郷土の偉人の顕彰を行うことにより、地域の振興とその生き方を学び郷土に誇りを持つことを次世代につなげるため現状維持したい。
現時点における課題、その他	伊賀支所で事務局を担当している。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	平成25年ぐらいを目処に、まちづくり協議会で事務局をお願いしたい。